

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
28-83	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
27 教芸	音Ⅱ 310	MOUSA2		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条に定められた教育の目標を踏まえ、芸術科音楽Ⅱにおける知識・理解を深めて思考力・判断力・表現力をバランスよく育成するために、次のような基本方針に基づいて編修しました。

①幅広い知識と教養を身に付ける

芸術科音楽Ⅱの学習を通して幅広い知識と教養を身に付けることができるよう、学習指導要領に示された「内容」を網羅しました。

②学習の観点が明確に分かる

歌唱、器楽、創作、鑑賞の教材においては、多くの教材に学習や活動の内容を示し、学習の観点が明確に分かるよう工夫しました。また、言語活動を促す際には、活発な意見交換が行われるように、提示する箇所や内容が適切かつ具体的であるかなども配慮しました。

③基礎的な内容を確実に学習する

演奏する際の注意点や、音楽用語の読み方とその意味を必要に応じて掲載し、音楽の能力が確実に定着するようにしました。

④主体性や創造性を育む学習に確実に取り組む

生徒一人一人の主体性や創造性を育むうえで特に大切な「創作」やアンサンブル活動の学習内容を吟味し、グループ活動等によって主体的に「協働」しながら学習を進めることができました。

⑤我が国や世界の音楽文化のよさを味わいながら豊かな心を育む

我が国の音楽文化、また世界の音楽文化の特徴を感じ取ることを通して、それらのよさを味わうことができました。それによって、自国の音楽文化に誇りをもつとともに、他国の音楽文化に対しても自国と同様に尊重する態度を養えるようにしました。

⑥ユニバーサルデザインを目指した内容やデザインにする

全ての生徒にとって、分かりやすく取り組みやすい教科書となるよう、教材の難易度や文章の内容について細やかに配慮しました。また、色の見分けがつきにくい生徒にとって学習上の支障が生じないよう、当事者のチェックを受けています。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全般	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな音楽的感性や情操を育成することのできる教材を選択・配列しました。(第一号) 	p.4～105
歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> 英語の学習と関連付けられるように、英語の歌唱教材を取り上げました。さらに、イタリア語やフランス語、ドイツ語にも興味・関心をもつことのできる教材を含めました。(第一号) 他人を思いやり自然を愛したりする心を育てる教材や、道徳的観点と関連付けて取り上げることのできる教材を含めました。(第一号、第三号及び第四号) 我が国の民謡と長唄を歌唱教材として取り上げ、我が国の伝統的な歌唱の学習を確実に行うことができるよう配慮しました。(第五号) 世代を超えて親しみ、歌い継いでいくという趣旨を生かした学習が行われるよう、「心の歌」や日本歌曲を掲載しました。また、それぞれの歌詞で歌われている風景に情趣を感じる心を養い、自然の大切さや環境保全の意義についても考えることができるようにしています。(第一号及び第四号) グループ活動によって、協働しながら学習を進めることのできる教材を含めました。(第三号) 	<p>p.28 「イタリア語の歌を歌おう」</p> <p>p.29 《Funiculi-Funiculà》</p> <p>p.30 《Nel cor più non mi sento》</p> <p>p.32 《Vaga luna, che inargenti》</p> <p>p.34 《Nessun dorma!》</p> <p>p.35 「フランス語の歌を歌おう」</p> <p>p.36 《Après un rêve》</p> <p>p.40 《Sherry》</p> <p>p.50 「ドイツ語の歌を歌おう」</p> <p>p.51 《Sehnsucht nach dem Frühlinge》</p> <p>p.52 《Die Lotosblume》</p> <p>p.57 《Amazing Grace》</p> <p>p.78 《Tears In Heaven》</p> <p>p.6 《東京 VICTORY》</p> <p>p.8 《ハナミズキ》</p> <p>p.10 《浜辺の歌》</p> <p>p.14 《椰子の実》</p> <p>p.16 《上を向いて歩こう》</p> <p>p.18 《糸》</p> <p>p.20 《楓》</p> <p>p.25 《夏は来ぬ》</p> <p>p.42 《アンパンマンのマーチ》</p> <p>p.60 《涙そうそう》</p> <p>p.82 《赤とんぼ》</p> <p>p.84 《秋のあじさい》</p> <p>p.86 《はなさくら》</p> <p>p.88 《幼き日のアルバム》</p> <p>p.62 《ていんさぐぬ花》</p> <p>p.62 《ピルカ ピルカ》</p> <p>p.63 《斎太郎節》</p> <p>p.72 長唄《越後獅子》から</p> <p>p.10 《浜辺の歌》</p> <p>p.14 《椰子の実》</p> <p>p.25 《夏は来ぬ》</p> <p>p.82 《赤とんぼ》</p> <p>p.88 《幼き日のアルバム》</p> <p>p.40 《Sherry》</p> <p>p.42 《アンパンマンのマーチ》</p> <p>p.82 《赤とんぼ》</p> <p>p.84 《秋のあじさい》</p> <p>p.86 《はなさくら》</p> <p>p.88 《幼き日のアルバム》</p>

<p>器楽教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各楽器の特性や基礎的な奏法を理解することができるように、分かりやすい図版と説明文を示しました。(第一号) 和楽器の学習活動を通して、我が国の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わえるようにしました。また、スペインのフラメンコのリズムを器楽教材として取り上げ、他国の文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。(第五号) グループ活動によって、協働しながら学習を進めることができる教材を含めました。(第三号) 	<p>p.19,77,78 「Let's play the GUITAR」 p.46 「リコーダーの運指表」 p.60 「三線」 p.64 「三味線」 p.64 「篠笛」 p.65 「太鼓」 p.60 《涙そうそう》 p.62 《ていんさぐぬ花》 p.63 《斎太郎節》 p.65 《祭の夢》 p.76 「フラメンコのパルマに挑戦！」 p.24 《Prelude I》 p.44 《E-TEN-RAKU》 p.47 《ソナタ》 p.48 《愛のテーマ》 p.63 《斎太郎節》 p.65 《祭の夢》 p.80 《人生のメリーゴーランド》</p>
<p>創作教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の創造性を育成するために、創作の学習目標と学習内容を明確に示すとともに、グループ活動によって協働しながら学習を進めることができる教材を含めました。(第二号及び第三号) 	<p>p.26 「構成を工夫して作品をつくろう」 p.58 「メロディーの雰囲気を変化させよう」 p.59 「演奏スタイルを変化させよう」 p.66 「音階を選んで旋律をつくろう」</p>
<p>鑑賞教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国や郷土の伝統音楽を明確な学習の観点から学ぶことができるようにしました。(第五号) 他国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、世界各地の伝統的な音楽を取り上げました。(第五号) さまざまなジャンルの音楽に親しむ態度を育成し、幅広い知識を身に付けられるよう世界のポピュラー音楽を取り上げました。(第一号) 作曲家の生涯を通して、時代背景や職業及び生活との関連を考察できるようにしました。(第二号) 	<p>p.70 「日本の伝統音楽」 (琵琶楽、文楽、歌舞伎) p.73 「郷土の芸能」 p.74 「世界の諸民族の音楽」 (「身振りを伴う表現」) p.38「民衆の音楽から世界のポピュラー音楽へ」 p.103 「ベートーヴェンの生涯と作品をたどろう」</p>
<p>その他の教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、道徳心を培うことができるよう、コラムや読み物を豊富に取り入れました。(第一号) 	<p>p.11 「日本の“うた”の作曲家たち」 p.21 「ルールを守って音楽を楽しもう」 p.91 「音楽と生活」</p>
<p>口絵資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交響曲を基に創作されたバレエの舞台の様子や、文楽及び歌舞伎の舞台に関する写真を通して、それらの上演にはさまざまな職業の人々が関わっていることに気付くことができるよう配慮しました。(第一号及び第二号) 他国との文化交流や音楽との触れ合いを求める心を育成し、環境保全や国際社会の平和の発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第四号及び第五号) 伝統と文化を尊重し、我が国の伝統音楽に親しめるようにしました。(第五号) 	<p>口絵 i 「INVITATION TO MUSIC!」 口絵 iii 「文楽」 口絵 iv 「歌舞伎」 口絵 v 「音楽の祭典〜ラ・フォル・ジュルネ」 口絵 iii 「文楽」 口絵 iv 「歌舞伎」</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①我が国の音楽文化

我が国の音楽文化について取り上げる際には、我が国や郷土を愛する心を育むことができるよう、その背景や生活との関わりなども示しました。

- 口絵 iii 「文楽」
- 口絵 iv 「歌舞伎」
- p.11 「日本の“うた”の作曲家たち」
- p.62 「アイヌの音楽」
- p.65 「唱歌について」
- p.68～69 「日本音楽の流れ」
- p.70～71 「日本の伝統音楽」
- p.72 「長唄に親しもう」
- p.73 「郷土の芸能」

②各学校の実態に合わせて選択することができる教材

表現と鑑賞の一体化を図った教材を配列し、各学校の実態に合わせてより多面的な学習活動を展開することができるようにしました。また、合唱曲については同声(女声・男声)、混声等で歌えるよう、さまざまな曲態を掲載しました。さらに、和楽器については三線、三味線、篠笛、太鼓を取り上げました。

- p.30 《Nel cor più non mi sento》／ p.104 《うつろな心》による6つの変奏曲 WoO70
- p.34 《Nessun dorma!》／ p.99 オペラ《トゥーランドット》から〈誰も寝てはならぬ〉
- p.46 《情景》(リコーダー)／ p.54 バレエ《白鳥の湖》
- p.46 《冬》(リコーダー)／ p.95 《和声と創意の試み》第1集〈四季〉から〈冬〉
- p.74 「世界の諸民族の音楽」／ p.76 「フラメンコのパルマに挑戦！」
- p.16 《上を向いて歩こう》(同声二部)、 p.25 《夏は来ぬ》(同声二部)、 p.40 《Sherry》(四声)、
- p.42 《アンパンマンのマーチ》(四声)、 p.82 《赤とんぼ》(同声三部／混声四部)、 p.84 《秋のあじさい》(女声三部)、
- p.86 《はなさくら》(混声四部)、 p.88 《幼き日のアルバム》(同声三部) など
- p.60 《涙そうそう》(三線)、 p.62 《ていんさぐぬ花》(三線)、 p.63 《斎太郎節》(三味線+太鼓)、
- p.65 《祭の夢》(篠笛+太鼓)

③学習活動文とリンク

それぞれの教材に学習や活動の内容を明示し、生徒が主体的に楽しく学ぼうとする意欲をもつことができるようにするとともに、学習が確実に行われるよう配慮しました。また、その教材と関連のある楽曲や資料などのページにリンクを張り、生徒が興味・関心をもって音楽の理解をいっそう深めることができるようにしました。

④発声に関するコラム

音楽の基礎的な技能を養うことができるよう、歌唱の学習に必要な発声に関するコラム「ヴォイス・トレーニング」を掲載しました。

- p.4 「ヴォイス・トレーニング」

⑤曲の魅力を探る「浜辺の歌 大解剖！」

生徒と先生の対話形式を用い、歌詞、構成、リズム、旋律、強弱、テンポなどさまざまな角度から一つの教材を

分析して曲の魅力を探り、表現を深めることにつなげることができるページを設けました。

p.12 「浜辺の歌 大解剖！」

⑥読譜や記譜の能力の育成

音楽を豊かに表現するための基礎的な能力(楽譜を見て、音高や音程、リズム、フレーズなどを把握して演奏する能力)を育成するために、「ソルフェージュ」を掲載しました。

p.22 「ソルフェージュ」

⑦外国の歌曲へのアプローチ

イタリア語、フランス語、ドイツ語の歌曲に取り組む際の手がかりとなるよう、基本的な発音について説明し、必要に応じて原語歌詞の意味を掲載しました。

p.28 「イタリア語の歌を歌おう」、p.35 「フランス語の歌を歌おう」、p.50 「ドイツ語の歌を歌おう」

p.28 《Vaga luna, che inargenti》原語歌詞の意味、p.31 《Nel cor più non mi sento》原語歌詞の意味、

p.35 《Après un rêve》原語歌詞の意味、p.50 《Sehnsucht nach dem Frühlinge》原語歌詞の意味、

p.53 《Die Lotosblume》原語歌詞の意味

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
28-83	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
27 教芸	音Ⅱ 310	MOUSA2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

①基礎的・基本的な知識、技能の習得への配慮

生徒が主体的に楽しく学ぼうとする意欲をもつことができるよう内容を充実させました。それぞれの教材に学習や活動の内容を明示し、演奏する際の注意点や、音楽用語の読み方とその意味を必要に応じて掲載しました。また、ページ間にリンクを張ることで音楽の理解をいっそう深め、それらを関連付けることにより音楽の能力が確実に定着するようにしました。

②表現と鑑賞の一体化を図る

音楽文化に関わる知識をいっそう深めるために、表現と鑑賞を一体化させて活動を展開することができるようにしました。「まず演奏し、その後に鑑賞して音楽のよさをさらに味わう」「鑑賞して感じ取ったことを生かし、自分たちの演奏を工夫する」など、常にフィードバックして学習することができるよう配慮しました。

③言語活動の充実

鑑賞活動において根拠をもって批評し合うことができるよう、具体的な「鑑賞のポイント」を提示し、鑑賞時の着眼点やその教材で何について批評したらよいか分かるよう配慮しました。また、その際の参考になるよう「音楽を鑑賞する際に」を設けました。

④音楽文化に関する学習の充実

我が国の伝統音楽や長く歌い継がれてきた日本の歌の学習を通して、日本人としての自覚をもつことができるよう内容を充実させました。また、諸外国のさまざまな音楽に触れるとともに、我が国の音楽との関連や違いについても理解することができるよう配慮しました。

⑤生涯にわたって音楽への愛好心を育む

教材が一つの地域や時代、ジャンルに偏ることのないよう留意するとともに、さまざまな教材を通して多様な音楽に接することができるよう配慮しました。また、生涯にわたって音楽への愛好心を育むことができるよう、新しい音楽経験と出会った際に役立つコラムや資料を豊富に掲載しました。

図書の内容		学習指導要領の内容															
		A 表現												B 鑑賞			
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作							
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ
		様々な表現形態による歌唱の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。				様々な表現形態による器楽の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。				様々な表現形態による器楽の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。				我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めて鑑賞すること。			
ページ	教材名																
42	アンパンマンのマーチ	●	●	●	●												
44	E-TEN-RAKU					●	●	●	●					●	●	●	●
46	リコーダーの運指表						●										
46	情景					●	●	●	●								
46	冬(第2楽章)					●	●	●	●								
47	ソナタ					●	●	●	●								
48	愛のテーマ					●	●	●	●								
50	ドイツ語の歌を歌おう	●	●														
51	Sehnsucht nach dem Frühlinge(春への憧れ)	●	●	●	●												
52	Die Lotosblume(はすの花)	●	●	●	●												
54	バレエ《白鳥の湖》													●	●	●	
56	夢やぶれて	●	●	●	●												
57	Amazing Grace	●	●	●	●												
57	フェイクにチャレンジ	●	●	●	●							●	●				
57	ゴスペル	「内容の取扱い」(2) 音楽文化についての理解															
58	創作2 メロディーの雰囲気を変化させよう											●	●				
59	創作3 演奏スタイルを変化させよう											●	●				
60	涙そうそう	●	●	●	●	●	●	●	●								
60	三線						●										
62	ていんさぐぬ花	●	●	●	●	●	●	●	●								
62	ピルカ ピルカ	●	●	●	●												
62	アイヌの音楽	「内容の取扱い」(2) 音楽文化についての理解															
63	斎太郎節	●	●	●	●	●	●	●	●								
64	三味線						●										
64	篠笛						●										
65	祭の夢					●	●	●	●								
65	唱歌について					●	●	●	●								
65	太鼓						●										
66	創作4 音階を選んで旋律をつくらう									●			●				
68	日本音楽の流れ													●	●	●	●
70	日本の伝統音楽													●	●	●	●
70	琵琶について													●		●	●

